

スポーツ・フォー・オール伊丹の実現へ 市スポーツ推進計画中間見直し

平成30年3月に策定した「伊丹市スポーツ推進計画」について、昨今の社会状況に応じて、中間見直しを行いました。今後5年間で、子どもや高齢者など、対象に応じたスポーツ機会の提供や、スポーツクラブ21の運営体制の強化支援、中学校部活動の地域移行に向けた環境整備等を行います。市民の皆様が広くスポーツに親しめるよう、スポーツ団体や学校、事業者と連携し、市民の皆様と共に計画を進めます。



また、スポーツ振興課では、誰でも気軽に行えるニースポーツ用具の無料貸出や、いたっボール等の出前講座も引き続き実施します。スポーツを始めるきっかけづくりにぜひご活用ください。

3年ぶりに開催しました！ スポーツの日のつどいを

新型コロナウイルス感染症の拡大により中止を余儀なくされていた「体育の日のつどい」ですが、今年度から「スポーツの日のつどい」と名称を改め、3年ぶりに開催し、幼児から高齢者まで延べ7701人の方にご参加いただきました。今年度は、ニースポーツ等の体験会に加え、東京2020オリンピックでも話題になったスケートボードの体験会を初めて開催し、整理券がなくなるほどの人気ぶりでした。来年度も、新型コロナウイルス感染症等の対策を講じながら、スポーツを楽しんでいただけのイベントを行います。



南アフリカ人民との友好交流視察(1992年2月)の思い出

池田 千津美

もう30年程前、左足骨折での車いすや松葉づえ生活、また仕事や解放運動の取り組みの多忙で大変な時期だったが、幸いにも南アフリカに視察に行く機会に恵まれた。プレトリア、ヨハネスブルク、ケープタウンなどの都市の訪問やネルソンマンデラ夫人との出会いもあった。日本から持ってきたマシラさん（黒人差別と闘う組織の代表）の似顔絵と寄せ書きと盆踊りのうちわを、踊る手ぶりをしめて渡すと大爆笑。体全体からにじみ出る逞しさは、マンデラさんと同様、何回も刑務所に入れられ、闘い抜いた中から身に付けたものかもしれない。

また、アリスさんをはじめ同行してくれた黒人の人達の優しさや温かさを今でも思い出す。世界一と言われたケープタウンの夜景を見ながら、アリスさんが私の手を引き、島の灯りを指差し、「あそこは心が傷む、私のふる里です。」と言った。それは、マンデラさんが30年以上アリスさんが10年間入っていた刑務所のあるロビン島の灯りだった。

最後の晩餐会で、32歳のズワイさんが、ANC（アフリカ民族会議）で奨学金を受けながら大学に通い、黒人差別のために頑張ると誓ってくれた。あの青年達の輝きを忘れないで、解放運動に徹することを自らも誓った。

余談だが、この後、タイの「生き直し学校」やネパールへの視察に行く機会に恵まれた。その中で、「人としての人権」を奪われている多くの女性や子ども達と出会い、私自身の心の痛みや悲しみと大いに共感するものがあり、交流や支援を長く続けることにした。

教育の広報について（お知らせ）

○教育情報誌「すくすくぐんぐん伊丹っ子」、教育広報紙「教育いたみ」は市のホームページにも掲載しています！

市教育委員会では、毎年、「すくすくぐんぐん伊丹っ子」(7月・12月)や「教育いたみ」(3月)を通じて、教育施策や教育情報を発信しています。

- ・「すくすくぐんぐん伊丹っ子」は、主に市立学校園児・児童・生徒や保護者を対象に、学校園および就学前施設における方針、活動内容や子どもに関わる講座等を掲載しています。
- ・「教育いたみ」は、伊丹市にお住まいのみなさまに向けて、当該年度の主要事業や学校園の周年行事等、一年間の教育関連情報を幅広く掲載しています。

伊丹市の公式LINEからも教育委員会のホームページにアクセスできますので、ぜひ登録を！



書の部

市長賞 作品名「飛龍乗雲」
西中3年 豊田 航大（とよた こうだい）



絵画の部

市長賞 作品名「アニミズム」
東中3年 宮川 由愛
（みやがわ ゆあ）



「第20回伊丹子ども市展」の入賞・入選作品が決まりました。

相談窓口の案内

子どもと保護者の悩み相談…少年愛護センター

（電話相談）平日：午前10時～午後5時半

☎072-770-8742（電話相談）／☎072-780-3540（来所相談）（来所相談）平日：午前10時～午後5時 ※予約制です。

学習、友人関係、いじめ、家族関係、不登校、問題行動…なんでも気軽に相談を。

教育相談…総合教育センター

（電話相談）（来所相談）

☎072-772-6171（電話相談）／☎072-780-2484（来所相談）
月曜・火曜・木曜・金曜：午前9時～午後6時
水曜・土曜：午前9時～午後5時

お子様に関する様々な悩みや課題、問題等の相談に応じています。